

埼玉連だより

令和元年5月31日

第

63号

★発行事務局 〒359-0026 所沢市牛沼 250-19 (本橋民夫方) TEL・04-2995-3839

埼玉県弓道連盟総務委員会

埼玉県弓道連盟

新しい時代に向かって

会長 本橋民夫

新しい時代に向かって、埼玉県弓道連盟もスタートを切りましたが、いくつかの課題があります。その一つは、会員の高齢化です。

現在、埼玉県弓道連盟の一般会員数(中学生、大学生を含む)は、約3,400名おります。年代別の構成は、20歳未満は7%、30歳代は8%、40歳代は15%、50歳代は21%、そして60歳以上は49%です。組織の構成としては、年齢の若い人が多く、年が多くなるにつれて徐々に少なくなっていくピラミッド型が理想ですが、埼玉県弓道連盟の現状は、60歳以上の方が約半数の状況にあります。この形のまま推移すると、20年後にはどうなるか不安になります。

県下の各道場等で初心者弓道教室等を開催して頂いて、埼玉県弓道連盟の会員はわずかではありませんが、年々増加の傾向にあります。しかしながら、初心者教室に応募してくる方の内訳を見ますと、女性は40歳以上の方、男子は仕事を定年退職した60歳以上の方が多くを占めています。従って、新入会員の方々が入って来ても、ピラミッドの形が変わることはありません。特に、年配の方々の入会も大歓迎ですが、30代以下の方々の入会も大いに歓迎します。

高校生の方に目を移しますと、少子化と言われ高校入学者も少なくなっているようですが、高校弓道部に入る生徒は、むしろ増えている傾向にあるようで、現在、高校生会員は一般会員とほとんど同数程度おります。問題は卒業後です。毎年1,000名以上の高校生が弓道部を巣立って行く訳ですが、その中で1割でも県内に残って連盟会員として弓道を続けて欲しいのですが、進学後或いは社会人になった後、弓道を続ける人が殆どいないというのが実情です。

高卒者が入ってくるのを待つだけでなく、受け入れ側の対策も必要であると考えます。

埼玉県弓道連盟としては、高校3年生の卒業前に卒業生を対象に、弓道を継続して頂くよう数年前から高校の顧問の先生を通じて手紙を出して呼びかけております。

各支部で行っている高校生を対象とした講習会の際に、支部内の各道場のPR等を行って、高校生が卒業後地元の道場に通いやすい雰囲気を作るということも一案と考えます。

ある道場では従来は道場利用時刻が21時までであったところを22時まで延長して頂いたことによって、より長時間の練習時間が確保出来るようになり、仕事帰りに道場に通う若い人たちが増えて、会員数が増加したという道場もありました。

新たな生活環境の変化、仕事・時間の制約、更には、結婚、出産・育児等で弓道を止めていく人が非常に多いようですが、これらの制約を克服して是非とも弓道を続けて欲しいと思います。

各道場での初心者教室開講等により、毎年400名を超える方々が埼玉県弓道連盟会員として入会されますが、連盟の会員数は微増にとどまっています。ということは、毎年300名を超える会員の方々が辞めて行っているということでもあります。20年～30年と弓道を続けられた方々が辞めていくことは非常に残念に思います。これらベテランの方々の退会の裏には、道場の運営ということも一因になっているかも知れません。

一般の道場には、初心者、学生から称号者と年齢・経験の異なった、多くの人達がございます。

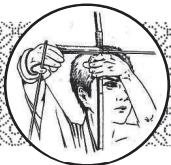
それらの方々の弓道を続ける目的はそれぞれ異なっていると思います。

定年退職後健康管理を目的として弓道を始めた人、カルチャーセンター的に友達と楽しいひと時を過ごそうとして弓道場に来る人、武道としての道を学ぼうとして弓道場に来る人、国体等全国大会出場を目指して弓道場に来る人等、年齢層も幅広く異なった目的を持った人が弓道場には集まります。

その人の目的によって使っている道具や弓の引き方、取り組み方、稽古の仕方はそれぞれ異

なります。稽古に対する取り組み方が異なる人々が同一時間帯に同じ場所で稽古をするというのは非常に難しいと思います。道場の中心となる人は、そういった取り組み方の違いによるギャップを埋めて、より多くの要望を受け入れ、どのような方でも弓を引ける環境を整えるよう心掛けなければならないと思います。

各道場におかれましては、地域特性を生かして創意工夫し、次代を担う若い会員の確保に尽力して頂きたいと思います。



専門委員会だより

総務委員会

平成 30 年度総務委員会報告

委員長 浅野 光子

今号では平成 30 年度総務委員会活動内容と、現在、委員会で考えている埼玉連の課題をお知らせします。

○総務委員会

【平成 30 年 5 月 19 日第 1 回】

- ・ 活動方針と業務分担の確認
- ・ 埼玉連だより 61 号の発行報告
- ・ ホームページリニューアルについて報告
- ・ 女子部規程改定についての協議
- ・ 70 周年記念事業の検討
- ・ ハラスメントについての意見交換と対策の検討
- ・ 賠償責任保険加入についての意見交換

【9 月 22 日第 2 回】

- ・ 表彰規程、女子部規程、旅費・行動費規程についての検討
- ・ 70 周年記念事業についての検討
- ・ 埼玉連だより 62 号編集報告及び電子データ化についての検討
- ・ ハラスメント等についての各支部・各道場の取り組みについて意見交換
- ・ 業務用会員名簿・業務提要発行に向けての検討
- ・ ホームページセキュリティレベル強化、大宮公園弓道場の改修工事、同駐車場有料化につ

いての報告

【12 月 24 日第 3 回】

- ・ 行動費改訂について協議
- ・ 70 周年記念事業について進捗状況報告及び、予算、記念品、記念誌についての詳細検討
- ・ 業務提要・業務用会員名簿作成についての今後の進め方について検討
- ・ 埼玉連だより 63 号発行方針の検討
- ・ 組織法人化・倫理問題等についての意見交換。

○埼玉連ホームページ

平成 30 年 4 月 1 日にモバイル対応を目的として現ホームページに全面移行。今後、セキュリティ強化への対応を計画。

○組織のありようについての検討

近年、いくつかの競技団体での不祥事が伝えられています。全弓連でも矢羽問題は組織をあげて解決が求められている問題です。スポーツに関する関心が深まっていくと同時に、スポーツ界での諸問題も社会の関心を引くようになってきています。総務委員会では今後の埼玉連発展のためにどのような取り組みが必要であるかを研究・検討したいと考えています。そのため、委員会内で組織の形(法人化等)、倫理問題(倫理規程、倫理委員会等)を検討する機会を設けたいと考えています。



画・松本 正

指導委員会

令和元年度指導方針

委員長 飯島千代子

今年度の全日本弓道連盟の指導方針が決まりました。

1. 「射法・射技の基本」に徹すること

- ・基本の5項目を深く習得していく
- ・正しい射法八節を実践していく

2. 「基本体の必要性」の実践

- ・動作の注意点(8項目)を習得していく

3. 射品・射格の向上について

- ・高段位者は常に射品、射格を高めていく努力を怠らないこと

4. 公認資格認定制度について

- ・「公認資格認定制度」における定着と更新方法の周知を行う

全弓連の指導方針は昨年度と同様です。指導委員会もこれに従い指導をしてまいります。

スポーツ界でパワハラ問題がありますが、[発言と行動]、[人として守るべき道]、[人の道・道徳]等、言動の倫理性を考えて各支部・各道場でも指導していただきたいと思えます。人格を否定するような高圧的な発言はパワハラになりますので気をつけてください。

例・上から目線な発言、怒鳴り

- ・こんなこともできないのか、バカ、アホ
- ・何回言ったらわかるんだ、やめてしまえ
- ・だから審査で合格できないんだ

思いやりのある指導をお願いいたします。

県連講習会は三回行ってありますが、第一回講習会に参加者が集中している傾向です。指導内容は変わりませんので弓道人口が少ない支部会場にも参加していただきたいです。会員の皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

指導委員会構成

顧問	松沢 岳 他	3名
委員長	飯島千代子	(総括)
副委員長	鹿野 信恵	(県連講習会)
同	池谷 茂	(会計・県外講習会)
同	古泉 利昭	(公認資格認定制度)
指導委員	本橋 民夫 他	教士七段の先生方 14名

競技委員会

6年間、ありがとうございました。

委員長 岡芹 喜行

平成30年度の行事も会員皆様のご協力と大会ごとに支えていただいた競技役員の皆様のおかげで滞りなく進みましたことをご報告申し上げます。

また、この度6年間務めさせて頂きました競技委員長を退任する事となりました。あらためて皆様に感謝申し上げます。

(1) 競技役員研修会 (競技運営の要点)

平成31年度県弓道大会運営要領では、最終ページに競技運営の係毎の要点や分担一覧表を記載しました。参考にして頂ければ幸いです。

選手として大会に参加される皆さんも運営に携わる競技役員へのご協力をお願い致します。

これら業務分担の内容は各支部の射会等に於いても準用できるものと思われまます。

研修会の運営、協議経過は、次の通りです。

全日本勤労者弓道選手権大会・埼玉予選会終了後に競技役員全員で研修会を行い、大会運営で分担して頂く的前・記録・進行・招集・総務などの業務内容について意見交換を行いました。

実際の運用となると短時間のうちに、的前係と記録係、進行係と招集係の呼吸が一致するといった文章に現れない連携が、大会をスムーズに運営して行く上で一番大切であるという認識で一致しました。このことが研修会の大きな成果であり、今後の競技会で参加される会員から注目され、期待されるところと考えます。

(2) 3月中の2大会

3日の勤労者予選では、ホンダAと所沢市役所Aが出場権を勝ち取りました。続く10日、競技委員長として最後の大会となりました神奈川弓連との親善射会(於横浜市)では、早朝より参加して頂いた埼玉県64名の精鋭が、的中率44.44%の好成績で3年連続勝利し、先生方からの祝福を受け、感激しながら帰ってきたことが思い出されます。

(3) 競技委員長後任

平成31年度からは、後任の競技委員長を、県大会はもちろん全国大会での実績も豊富な市川政子先生に引継いでいただきます。会員皆様の変わらぬご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

国体選手強化委員会

国体強化の15年

委員長 瀧上 三郎

平成15年度から国体選手強化委員会の一員となり国体選手強化やチーム作りの魅力に取りつかれたことを思い出します。

なかでも平成18年兵庫国体、二年後の平成20年大分国体で成年男子チームの近的優勝に監督として、その瞬間に立ち会えたことは一番の思い出です。

平成25年度より国体選手強化委員長の大役をお引き受けしましたが、評価される成績を上げることが出来ず、4種別すべてが予選敗退して本国体に出場出来ない年度もありました。

委員長として力不足の私が、六年間務めることが出来たのもひとえに埼弓連の先生方をはじめ強化委員の先生方のご指導ご協力、また会員の皆様の応援があったればこそ、続けることが出来たと思います。

このことにあらためて感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

令和元年、新強化委員長岡芹喜行先生のもと「強い埼玉」の復活に期待いたします。

～育成会・選考会参加人数報告～

11月4日	第1回育成会	男子9名、女子5名
12月2日	第2回育成会	男子14名、女子13名
1月19日	第3回育成会	男子17名、女子11名
2月2日	第4回育成会	男子11名、女子11名
3月9日	第1回予選会	男子18名、女子8名
4月7日	第2回予選会	男子21名、女子13名

審査委員会

平成30年度の総括とお願い

委員長 齋藤 安次

平成30年度の審査会も無事終了致しました。これも各支部のご協力の賜と深く感謝致します。

平成30年度の延べ受審者数は、5,252人で前年度比プラス3.4%、合格者数は2,221人で前年度比マイナス2%でした。これは日頃の弛まぬ稽古と前進志向の現れではないでしょうか。

弓道連盟は公益法人として様々な改革がなされ、審査においても公平性の観点から、審査統一基準や学科試験問題の公表などがありました。これらは勉強するガイドになると同時に、稽古の目標になるものです。日頃から弓道教本をハンドブックとして心身を磨き、審査に臨んで欲しいと思います。

今年度から学科試験問題が改訂され具体的な設問になったので、回答し易くなったと思っておりましたが、高校生の審査会で「立射での矢番え動作について説明しなさい」を出題したところ筆が進まない受審者が多かったように感じました。学否を出さないためにも、教本の中に記述が少ない問題は、指導者に補っていただくことを期待します。

外国語での受審者については審査申込書の受審者連絡欄に朱書きで「英語受審」と明記し、付箋を付けて、受付担当者に提出するよう必ずルールを守って下さい。先日の審査会では外国語の受審者届け出がなく、学科答案が英語で書かれ混乱をきたしました。

埼弓連では昨年度英語通訳・翻訳者を公募したところ8人もの優秀な方々に登録を頂きました。英語での受審者は安心してお申込み下さい。

<よくある質問>

Q: 審査会の数日前に怪我をして坐射ができない。どうすれば良いか？

A: 県内審査会は所属長の証明書、県外審査会は会長の承認書を作成し当日受付に提出する。

Q: 審査申込書の新元号は何時から適用か？

A: 5月1日から「令和元年（1年）」とする。但し、全弓連から指示があるまでは、西暦でも受け付ける。

今後とも審査委員会事務業務へのご支援・ご協力を、宜しくお願い致します。

高 体 連

更なる部活動活性化のために

委員長 山田 紀之

日頃より弓道連盟の先生方には、高体連の活動に全面的な御理解、御支援を賜り感謝申し上げます。

本年度は弓道専門部も役員改選の年ですが、過日行われた顧問総会において、委員長以下役員が続投が承認されました。引き続きお世話になります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

前号のこの紙面でも書かせていただきましたが、部活動を取り巻く環境が大きく変化しています。

スポーツ庁が平成30年3月に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に則り、県教育委員会でも同年7月に「埼玉県の部活動の在り方に関する方針」を策定しました。

県方針の概要 ～五つの柱～

- 1、適切な運営のための体制整備
- 2、合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進のための取組
- 3、適切な休養日等の設定
- 4、生徒のニーズを踏まえた環境の整備
- 5、学校単位で参加する大会
・コンクール等の見直し

県方針策定のねらい ～部活動はどう変わるの～

- ◎効率的な部活動の運営によって、更なる部活動の質的充実を図る
- ◎適正な部活動によって、生徒一人一人の学校生活が更に活性化する
- ◎部活動以外で教員が生徒と向き合う時間を増やす

平成31年4月1日より、この取組が実施され、各校ごとに策定した「学校の部活動に関わる活動方針」により実質的な運営が開始されます。

県としては、全面的に国の方針を遵守する形で各学校に対して一律に方針の通達がありました。

県高体連としては、各学校の実情を考慮した

形での実施を要望してきました。2月の高体連理事会においても、会長から、「各学校の現状を踏まえての運用、短時間で効率的な練習を目指し、併せて競技力向上を目指す。生徒の全人的教育、部活動の活動内容も改善すべき点は改善して行く方向で。」という話がありました。

また県保健体育課長からも、「今回の県の方針は、決して部活動の衰退、自粛を促すものではない。部活動の在り方について、継続可能な方向、生徒の健康、安全を考える契機として、とらえて欲しい。数値に注目しがちだが、今まであたりまえに続けてきた活動に、疑問を持ったり、改善点はないか見つめ直すきっかけにして欲しい。」という話がありました。

部活動が生徒の成長にどれだけ大きな影響を与えるか、その教育効果は大きなものがあると思います。特に弓道という日本の伝統文化であり、日本古来からの武道に携わることによる教育効果は、いまさら言うまでもありません。

弓道の技を磨くなかで、人格を磨くことの大切さを知り、それが学校生活を中心とした日常生活に活かされていく。

さらに弓道を学んだことが、これからの人生に大きな影響を与えてくれる。各学校の弓道部で活動したことが、その人の人生の大切な心棒のようなものを作ってくれる。

そんな活動ができるように、私自身新たな気持ちで、川越総合高校弓道部の顧問として、新年度に入部してくれた新入部員を含めた部員たちに向き合いたいと思います。

連盟の先生方のあたたかい御支援を今後とも引き続きどうぞよろしくお願い致します。

〈大会結果〉

●全国選抜大会県予選

11月10日(土)男子参加441名、11日(日)女子参加446名、14日(水)男女決勝 県立武道館

○男子団体／①川越総合 A(種市惇輝・榎本大雅・戸張 凧)②坂戸西 B(小林晶斗・新井公貴・高橋郁弥・石山達也)③浦和 C(樋口竣哉・宮島章太・宮崎滉巳・西 洋輝)

○女子団体／①深谷第一 B(芦埜凧沙・岡本衣久美・北澤あかり・小泉りさ)②坂戸西 B(佐藤夕奈・杉田蒼来・春山 萌・清水亜麻音)③鳩ヶ谷 A(川北玲菜・久慈有沙・青木穂果・小室秋穂)

○男子個人／①鈴村 旭 15中(秩父農工科学)②種市惇輝 14中(川越総合)③高橋郁弥 14中

(坂戸西)

○女子個人／①大久保七海 15 中 (大宮南)②橋田愛未 13 中 (進修館)③春山 萌 12 中 (坂戸西) ※同中は競射により決定 ※男女、団体各 1 位、男子個人 1・3 位 (2 位は団体出場校のため繰り上げ)、女子個人 1・2 位の選手は全国高校弓道選抜大会に出場

●第 37 回全国高等学校弓道選抜大会

12 月 24 日 (月)～26 日 (水) 岡山県総合グラウンド体育館「ジップアリーナ岡山」特設弓道場 入賞等なし

●第 18 回東日本高校弓道大会

3 月 23 日 (土)～25 (月) 群馬県「高崎アリーナ」特設弓道場

○5 人制男子／③大宮東 (岡崎由詩・荒川太一・小堀竣哉・新井龍也・宮本 光・正能健次・山科颯馬)

○5 人制女子／①大宮南 (大久保七海・横山結南・宮本 萌・守屋麻衣・高柳楓子・小澤美怜・木村しほ里) ※大宮南は来年度推薦出場

○3 人制女子／①大宮南 (大久保七海・横山結南・宮本 萌・守屋麻衣)③深谷第一 (芦埜風沙・岡本衣久美・北澤あかり・小泉りさ)



第 18 回東日本高等学校弓道大会群馬大会
(高崎アリーナ特設弓道場)
女子団体五人制、三人制両部門で優勝
大宮南高校のメンバー

ティーブレイクの解答：①3cm ②10cm ③10cm
④一拳 二拳 ⑤10cm ⑥10cm ⑦10cm ⑧10cm
一拳 ⑨10cm ⑩二息 10cm ⑪10cm ⑫54cm
45cm ⑬6cm ⑭13cm 15cm 0.5cm ⑮36cm
27cm ⑯45度 ⑰28m 5度 ⑱2m(3歩) 1.1m(2歩)
⑲2.21m 2.27m ⑳五 ㉑10cm

平成 30 年度埼玉県体育賞 (功労賞)

受賞おめでとうございます。

連盟推薦 新井一隆 (秩父)
市町村推薦 手嶋照晃 (熊谷)
儘田恵子 (羽生)
宝田秀子 (蕨)
齋藤安次 (ふじみ野)
安藤嘉一 (毛呂山)

《新役員を支部長理事までご紹介します》

令和元・2 年度 埼玉県弓道連盟役員名簿		
役職名	氏名	支部
名誉会長	松 沢 岳	県北
名誉会長	小 澤 通 春	秩父
会 長	本 橋 民 夫	西部
副 会 長	飯 島 千代子	県北
副 会 長	浅 野 有 三	県央
副 会 長	浅 野 光 子	県央
副 会 長	岡 芹 喜 行	県北
理事長 (兼)	浅 野 有 三	県央
副 理 事 長	平 野 博 幸	県央
常 任 理 事	市 川 政 子	中部
常 任 理 事	松 澤 かおり	県央
常 任 理 事	齋 藤 安 次	西部
常 任 理 事	山 田 紀 之	高体連 (西部)
監 事	岡 田 義 助	県央
監 事	大 上 直 美	東部
会 計 理 事	廣 松 弘	県央
会 計 理 事	吉 嶺 暢 嗣	県央
支 部 長 理 事	石 田 徳 光	秩父
支 部 長 理 事	高 橋 久 雄	県北
支 部 長 理 事	北 原 きい子	東部
支 部 長 理 事	森 正 一	県南
支 部 長 理 事	古 泉 利 昭	県央
支 部 長 理 事	池 谷 茂	西部
支 部 長 理 事	鳶 田 富 男	中部

大会・射会入賞記録

●第31回全国健康福祉大会（ねんりんピック）

平成30年11月3日（土）～5日（月） 富山県射水市：大島弓道場・ヨシダ大島体育館

優勝：埼玉県代表チーム：監督：望月 衛（久喜）、下田 徹（所沢）、村上広子（上尾）、竹村銀郎（桶川）、下田逞次（入間）、大西三枝子（越谷）

●平成30年度 第16回埼玉県武道大会【弓道の部】

平成30年11月25日（日） 埼玉県立武道館 参加者179名（中学生39名、高校男女・一般男女 各5名ずつ7支部計140名）

◇中学の部 個人：①浅野 桜（星野学園中）、②行本日菜子（秩父市立秩父第一中）、③佐藤愛莉（さいたま市立浦和中）

◇支部対抗の部 団体：①県北支部、②東部支部、③県央支部

◇高校女子の部 個人：①佐武美和（伊奈学園）、②迫田晶子（川越女子）、③八木沙永子（深谷第一）

◇高校男子の部 個人：①宮原 慶（秩父農工）、②飯田 匡（越谷東）、③戸張 凧（川越総合）

◇一般女子の部 個人：①室町純子（志木）、②田辺智子（岩槻）、③蜂須明子（熊谷公園）

◇一般男子の部 個人：①宮崎正範（吉川）、②平塚雄一（富士見）、③新里 陵（久喜）

●平成31年 埼玉県弓道連盟新年初射会結果

平成31年1月6日（日） 埼玉県立武道館 参加者291名（称号者167名、有段者124名）

◇称号者の部：①安野雄次（小川）、②富田昌孝（静仙洞）、③新井 満（春日部）、④設楽謙二（鴻巣）、⑤森 正一（蕨） ◇有段者の部：①川口憲次（川越）、②高野聖（久喜）、③吉越眞之（草加）、④新里 陵（久喜）、⑤仁木弘之（駒場）

●第66回全日本勤労者弓道選手権大会・埼玉県予選

平成31年3月3日（日） 県立武道館弓道場

参加者14チーム（42名）

①ホンダ埼玉A（鈴木真人・古賀元浩・伊藤隆司）

②所沢市役所A（廣川澄芳・澤田靖子・石川淳子）

③航空自衛隊・入間基地（大石泰彦・加藤則康・赤木隆修）

上位の2チーム（3位は補欠）は、2019年6月7日（金）～6月9日（日）に鹿児島県出水市で行われる第66回全日本勤労者弓道選手権大会に出場予定

●神奈川県連・埼玉県連 指導者交歓射会

平成31年3月10日（日） 神奈川県立武道館

参加136名 神奈川県38.81%、埼玉県44.44%

埼玉県優秀選手賞 浜崎千秋、中村尚美、出下晃一郎、落合正規、鹿野信恵

編集後記 63号

元号が平成から令和に変わり、新たな気持ちで弓に取り組んでいる人が多いと思います。埼玉連でも改選時期です。役員の方々も一部変わりますが、本橋会長のもと新たな体制で令和元年が始まりました。今年は県連創立70周年の年でもあります。次の時代へ大きく花開かせる埼玉の弓道のため、「埼玉連だより」編集長として、何か貢献できる紙面でありたいと気持ちを新たにしました。

私が初段をいただいたのが昭和44年春の大宮公園弓道場でした。今年その弓道場の控室が改修されました。ここにたどり着くまで関係者の方々のご苦勞やご努力がたくさんあったようです。今後は皆様が、この道場を大切に、そして有効に活用することが、存続や改修に努力された方々に対する恩返しになるとおもいます。

今号は「松澤岳範士の弓道講座」はお休みします。また女子部の原稿が間に合わなかったためこれもお休みします。

編集長 高橋久雄



秩父支部

支部長 石田 徳光

平成 30 年度後期活動報告

支部長 石田 徳光

平成の元号最後の年での第 4 回地方審査が 9 月 23 日(日)秩父市第 1 弓道場にて実施されました。高校生 15 名、一般 194 名総数 204 名の受審となりました。欠席が一般 8 名でした。

飯島千代子範士を審査委員長とし、大勢の諸先生方や役員ほか、多くの方々のご協力により無事終了することができました。ありがとうございました。

<競技・講習会>

●第 5 回カップ戦

平成 30 年 10 月 28 日(日) 秩父市第 1 弓道場
参加 110 名

中学生①若月 涼②杉原 成③内田藍菜
高校女子①新井亜希帆②上原優莉亜③守屋留衣
高校男子①宮原 慶②浅賀史也③加藤大地
一般女子①吉澤和代②新井幸子③町田昭代
一般男子①丸山康弘②井上 誠③守屋 豊

●第 6 回カップ戦 納射会

平成 30 年 12 月 9 日(日) 秩父市第 1 弓道場
参加 65 名

中学生①行本日菜子②浅賀南星③若月 涼
高校男子①鈴村 旭
一般女子①町田昭代②田野ヨシ子③瀬戸美代子
一般男子①守屋 豊②町田孝之③猪野 栄

●第 7 回カップ戦 新年射会

平成 30 年 1 月 13 日(日) 秩父市第 1 弓道場
参加 215 名

中学生①若月 涼②井上颯太③黒澤美怜
高校女子①島田志季穂②守屋留衣③新井香菜
高校男子①宮原 慶②鈴村 旭③谷藤諒弥
一般女子①大野敦子②井上美根子③吉澤和代
一般男子①新井久慶②清水慶一③丸山 彰

●郡下弓道大会

平成 30 年 11 月 18 日(日) 横瀬町三菱マテリアル弓道場 参加 25 名

①木村英一②町田孝之③丸山 彰



●高校生講習会

平成 31 年 3 月 21 日(木) 秩父市第 1 弓道場
参加 38 名

講師：町田教士六段、吉澤和代教士六段、斉藤公子錬士六段による、基本の姿勢と動作・執弓など基本を重視して指導していただきました。欠席もなく全員が熱心に取り組み充実した一日となりました。



●支部内の交流射会

秩父弓道会と小鹿野町弓道会での親善射会と懇親会が好天の中で、和やかに実施されました。参加 17 名



※令和元年 10 月 26 日(土)・27 日(日)
秩父を会場に範教錬士会が予定されております。
ご協力をお願いいたします。

県北支部

支部長 高橋 久雄

副支部長退任にあたって

副支部長 佐藤 文治

私は、2期4年間副支部長を拝命してきましたが、この度3月17日の支部総会で退任し、新しく設楽謙二先生とバトンタッチすることになりました。この間、支部の皆様にとくさんのご協力をいただき無事に務めることができました。大変ありがとうございました。最後になりますが、昨年秋に私が監督として臨んだ思い出深い埼玉県武道大会を報告させていただきます。

支部予選は、一般の部を平成30年8月19日(日)、高校の部を8月27日(月)に実施。その後、高校生については各学校で練習。一般はなかなか日程がとれず、漸く10月27日(土)に行田市弓道場で練習会(夜間)が行えました。制限時間を計りながら、男女各5人の立順を決定し、11月25日(日)の大会当日を迎えました。

皆さんそれぞれが奮闘し、団体戦の成績が高校女子16中、男子15中、一般女子17中、男子16中、計64中でみごと優勝を果たしました。昔は優勝したこともあったようですが、近年まれに見る快挙でした。個人では蜂須明子選手が一般女子3位に入賞しました。私にとっても思い出に残る大会となりました。選手の皆さん、ありがとうございました。



<競技・講習会>

●第3回支部カップ戦

平成30年10月28日(日) 寄居町立弓道場
参加68名、24チーム 団体①熊谷公園E:筑井真一、島村保男、高橋久雄 ②鴻巣B:山下広二、二宮一広、佐藤正和 個人一部①高橋久雄(熊谷公園)、②島村保男(熊谷公園)、③筑井真一(熊谷公園) 二部①馬場信真(熊谷公園)、

②山下広二(鴻巣)、③秋山博子(寄居) 三部
①中野茂美(熊谷公園)、②掛田春雄(羽生)、③内島恵子(本庄)

●新年初射会兼中央審査昇段昇格者祝射会

平成31年1月27日(日) 熊谷運動公園弓道場 参加69名 個人一部①岡芹喜行(本庄)、②飯島千代子(深谷BT)、③青木麻里奈(行田) 二部①山田昇(行田)、②荻原重弘(鴻巣)、③関口友樹(熊谷武道館) 三部①山縣邦悠(鴻巣)、②内島恵子(本庄)

●平成31年度県北支部総会及び射会

平成31年3月17日(日) 熊谷運動公園弓道場 参加 総会51名、射会48名 個人一部①松本信一郎(熊谷公園)、②青木麻里奈(行田)、③寺崎正道(深谷稲荷) 二部①長井敦史(熊谷公園)、②山下広二(鴻巣)、③山田昇(行田) 三部①大嶋道雄(熊谷公園)、②戸井田正夫(熊谷武道館)、③新井好一(熊谷公園)

●第108回県北高校弓道大会

平成31年3月27日(水) 熊谷運動公園弓道場 参加15校257名(男子126名、女子131名) 男子優秀校:熊谷高等学校、女子優秀校:成徳深谷高等学校 個人男子①田岡聖人(深一)、②吉岡歩生(熊農)、③野本宙(成徳深谷) 女子①岡本衣久美(深一)、②眞名田日向子(誠和福祉)、③溝口真生(熊農)

●第3回支部練成会

平成30年11月28日(水) 行田市弓道場 参加24名 講師:飯島千代子範士、正能正三教士、中島勇錬士 内容:矢渡、持的射礼、競技方式、射技指導

●第4回支部講習会(初、式段)

平成31年2月3日(日) 寄居町立弓道場 参加25名 講師:正能正三、戸塚藤代、寺崎正道各教士 内容:審査方式、基本動作、射技指導

●第4回支部練成会

平成31年3月13日(水) 本庄市弓道場 参加27名 講師:岡芹喜行、戸塚藤代、北田ヤ千代 各教士 内容:矢渡、体配・射法射技の基本

●第10回高校生受審者講習会

平成31年3月25日(月) 熊谷運動公園弓道場 参加95名 講師:県連弓道指導委員、弓道公認指導委員等13名 内容:体配、射法八節

東 部 支 部

支部長 北原きい子

精進の道標

久喜市弓道連盟 綾戸 岩雄

13歳の中学生の時、弓を引く姿の美しさそこで指導されていた先生の「凛」とした姿にひかれ、子供ながらも自分もあのような人になりたいと思って弓道を始めました。今思えばその先生の姿と行動から醸し出される品格に感動したのだと思います。

諏訪内敬司氏の「品性論」に次のような記述がありますのでご紹介します。

「品位とは、人間の地位という身分よりも道徳的な質を示す色彩があり、一定の主義によって強固な意思を持ち、その意思に基づいて行動を継続した結果、意思の習慣が確立し、どのような時と場合でも心身共に道徳に沿った同一の行動ができるという人間の理想の姿である。…からだつき、顔つき、ものごし、姿にも顯れる様々な行動を鍛え直した時に品性が成立し、品性が確固と揺らぎないものになったとき品格になる。」この言葉の奥深さと神秘さを感じながら弓道の理念と照らし合わせて精進の道標としたいと思っています。

平成31年度は支部役員の改選年度で一部の役員が交代しました。今後とも新執行部へのご支援をお願い申し上げます。

< 競技・講習会 >

●東部支部 納射会

平成30年12月8日(土) 大宮公園弓道場
参加116名 ①齋藤 満(久喜)②竹村銀郎(桶川) ③大熊美幸(久喜)

●東部支部 初射会

平成31年1月14日(月) 県立武道館弓道場
参加142名 ①大塚聡樹(宮代)②木村鷹士郎(桶川)③望月 衛(久喜)

●東部支部 総会射会

平成31年3月24日(日) 大宮公園弓道場
参加105名 ①高橋かおる(久喜)②石井千尋(上尾)③門脇三葉子(春日部)

●県南支部・東部支部 高校生弓道大会

平成31年3月23日(土) 大宮公園弓道場
参加434名(男子:223名、女子:211名)
審判員(東部)綾戸岩雄教士、二見富士夫錬士

(県南)加藤睦正教士

男子団体①越ヶ谷 B②川口東 A③伊奈学園 A

女子団体①鳩ヶ谷 A②越ヶ谷 C③川口東 A

個人男子①杉浦泰介(越ヶ谷 B)②知念幸輝(春日部 A)③小川瑠貴(春日部 A)

個人女子①川北玲菜(鳩ヶ谷 A)②國塩滋未(越ヶ谷 C)③齋藤 葵(伊奈学園 A)

●相互研修会

平成30年11月11日(日) 大宮公園弓道場
参加17名 指導役:四段以下に対し支部内教士、五段以上は自主研修 内容:基本体、審査の要領での行射、肌脱ぎ・釋さばき、立射、射礼

●指導者研修会

平成30年12月16日(日) 大宮公園弓道場
参加15名 講師:支部内称号者 内容:ハラスメント、マナーについて、射学入門正宗について、初心者・学生に対する指導法

●弓道講座

平成31年2月2日(土) 大宮公園弓道場
参加41名 講師:坂本武彦教士 内容:射の根拠の研究と指導法、射礼・体配について、弓具の見方、射法の変遷、八節の注意事項



(矢の説明)

●第6回講習会(貳段以下の部、参・四段の部)

平成31年2月9日(土) 県立武道館弓道場
参加62名 講師:支部内称号者 内容:審査の要領での行射、行射の注意点、八節の説明、射技指導

●第7回講習会(高校生の部)

平成31年3月27、29日(水、金) 大宮公園弓道場
参加191名 講師:支部内称号者
内容:基本の姿勢、基本の動作、執弓の姿勢、矢番え動作、審査における入場から退場までの動作の流れ、審査の要領での行射

県南支部

支部長 森 正一

戸田市弓道連盟のご紹介

戸田市弓道連盟 大橋 千尋

元号が「令和」に変わった今年は、戸田市弓道連盟でも役員改定の年であり、会長・副会長が交代し、理事にも若干名の入れ替えがあり、「令和」と同じく「元年」の年となりました。

当連盟は、昭和55年に発足した戸田市弓友会が中心となり、昭和62年に設立されました。

当連盟のある戸田市は、埼玉県の南に位置し、古くは江戸へ向かう中山道の荒川の渡し場でした。また、前回の東京オリンピックのボート競技会場にもなったことから、現在でもボート競技の聖地として全国的に有名です。市の南を流れる荒川の向こうは東京、というアクセスの良さから転勤で東京に来られた方も、市内に多く住まわれています。当連盟にも転勤でいらした方も入会されており、弓を通して交流を深めています。

当連盟主催の射会は年に6回あり、春の連盟総会後の「池田杯」から始まります。これは連盟設立時に大変お世話になった池田邦子範士のお名前を冠した射会です。秋には「戸田市民体育祭弓道大会」。ここ数年は、同じ県南支部の他団体の方々をお招きして、狭い道場ながらも楽しみ頂けるよう皆で奮闘しています。

そして7月の「夏季射会」と12月の「納射会」これらの射会の後には、暑気払い・忘年会も企画され、道場とは違うくつろいだ雰囲気の中で弓友と弓の話(いや、他の話?)で盛り上がります。年が明けて1月には「新年射会」いつもの霞的とは違う扇的や金的を目指してのお楽しみもあり、的中の音に歓声が上がります。年度の最後を締めくくるのは、2月の「五十射会」寒さと戦いながら、自らの射と向き合う一日を過ごします。

他には、年に1回、他団体の先生を講師としてお招きしての講習会、春と秋の2回の道場清掃・安土整備、そして弓道教室を経て新しく入会された方々へのフォロー指導も行っています。

現在、会員数は60名と決して多くはありませんが、諸先輩が繋いできた「戸田市弓道連盟」を次の時代へ引き継いでいけるよう、新会長の

元、会員一同力を合わせていきたいと思っております。

<競技・講習会>

●平成30年度納射会

平成30年12月9日(土) 大宮公園弓道場
参加者99名 ①宮崎正範(吉川)②中村尚美(越谷)③村永政志(川口)

●平成30年度初射会

平成31年1月13日(日) 大宮公園弓道場
参加者90名 ①鈴木多恵子(吉川)②宮内 毅(越谷)③齋藤友三(越谷)

●平成31年度総会射会

平成31年3月17日(日) 大宮公園弓道場
参加者106名 ①宮崎なつき(吉川)②齋藤友三(越谷)③重藤保枝(川口)

●第3回参・四段講習会

平成30年9月30日(日) 大宮公園弓道場
参加者38名 講師：鷹巣光子、坂本 恵、大竹淑夫各教士

●第3回式段以下講習会

平成30年10月27日(土) 大宮公園弓道場
参加者19名 講師：大竹淑夫教士

●第4回四段以下講習会

平成31年1月20日(日) 大宮公園弓道場
参加者50名 講師：市川政子、小川幸子、鈴木多恵子、大竹淑夫各教士

●県南支部高校生講習会

①平成31年2月3日(日) 大宮公園弓道場
参加者93名 講師：大竹淑夫教士、高橋なみえ、佐々木睦美、三井秀美、木本将史、田口靖博各錬士

②平成31年2月16日(土) 大宮公園弓道場
参加者73名 講師：鈴木多恵子、大竹淑夫、宮澤梢枝各教士、宮内 毅、熊木幸夫、中村尚美各錬士

※講習内容は各段位に応じて体配、射技指導等を実施

●県南東部高校生大会

平成31年3月24日(土) 大宮公園弓道場
審判員 加藤睦正教士

県 央 支 部

支部長 古泉 利昭

さいたま市民体育大会

支部長 古泉 利昭

去る10月21日に大宮公園弓道場でさいたま市民体育大会(弓道競技・一般の部)が、市体育協会専務理事 村山和弘氏にも臨席いただき参加者175名で開催されました。

村山氏のご挨拶の中に、「市のスポーツに関する目標である“健康で活力のあるスポーツのまち さいたま”をつくるため是非ご協力をいただきたい。」とお話があり、全員その思いを胸に競技にのぞみ、熱戦を繰り広げました。なお、28日には高校の部が開催されましたが、577名という多くの参加者でした。



(挨拶をされる村山専務理事)

<競技・講習会>

●武道大会選手選考会

平成30年10月13日(土) 大宮武道館弓道場 参加40名 12名選出

●市民体育大会(一般の部)

平成30年10月21日(日) 大宮公園弓道場 参加者175名

- 団体①大宮(濱井さやか・白石美奈子・森山剛)②駒場(仁木弘之・佐野正和・原田昌彦)
- ③記念(亀沢光治・町田秀夫・筑紫武人)
- 個人男子①石田哲也(大宮)②森山剛(大宮)
- ③仁木弘之(駒場)
- 個人女子①白石美奈子(大宮)②大成周子(記念)③武政宏美(岩槻)

●市民体育大会(高校の部)

平成30年10月28日(日) 大宮公園弓道場 参加577名

- 団体男子①浦和(菅・大村・山中)②与野(金子・水村・桃井)③大宮東(岡崎・荒川・宮本)

○団体女子①大宮光陵(原田・内田・爪川)②浦和北(天沼・鳴原・渡部)③埼玉栄(万代・野崎・富崎)

○個人男子①山中秀哲(浦和)②岡崎由詩(大宮東)③大村航司(浦和)

○個人女子①富崎優羽(埼玉栄)②宮本萌(大宮南)③内田清佳(大宮光陵)

●県央支部杯・市選手権大会

平成30年11月10日(土) 大宮公園弓道場 参加84名

○団体①玉井京太郎(与野)坂井章貴(大宮)松田栄子(駒場)②米澤知子(岩槻)作野肇一(駒場)内野亜香(大宮)③岸美由紀(岩槻)北島康弘(記念)小澤伸江(大宮)

個人○称号者①飯島功(岩槻)②浅子好夫(大宮)③山岸繭子(駒場)

○四五段①森山剛(大宮)②玉井京太郎(与野)③亀沢光治(記念)

○参段以下①今泉雄仁(岩槻)②作野肇一(駒場)③北野達夫(駒場)

●県央支部納射会

平成30年12月8日(土) 県立武道館弓道場 参加124名

○称号者①石川芳男(岩槻)②木幡清志(岩槻)③武政宏美(岩槻)

○四五段①亀沢光治(記念)②五十嵐喜久雄(岩槻)③松平健児(与野)

○参段以下①町田智行(岩槻)②田辺智子(岩槻)③原田幸江(岩槻)

●県央支部初射会

平成31年1月14日(月) 大宮公園弓道場 参加159名

○称号者①浅子好夫(大宮)②武政宏美(岩槻)③竹内せき子(大宮)

○四五段①永江悠暉(与野)②北村育子(大宮)③森山剛(大宮)

○参段以下①北島康弘(記念)②池澤修(大宮)③永井未来(与野)

●県央支部総会射会

平成31年3月17日(日) 県立武道館弓道場 参加93名

①軽込次男(岩槻)②矢部昌子(大宮)③鷹巣光子(駒場)

●春季高校生(中学生)大会

平成31年3月28日(木) 大宮公園弓道場 参加621名

西部支部

支部長 池谷 茂

支部だより

支部長 池谷 茂

3月24日、支部評議員会を開催し30年度事業報告・新年度の事業計画が承認されました。役員改選にあたり二期目の支部長任命を賜り、新旧役員・会員の皆様に引き続き、行事が円滑に進められるようにご協力をお願い致します。私自身、更に気を引き締めて運営が一層進展出来ますよう努めて参ります。前年度に於いては、大井弓道連盟と上福岡弓道連盟が一つになり「ふじみ野市弓道連盟」として発足しました。

30年度「ねんりんピック富山」では埼玉県が「優勝」し、西部支部より代表選手に下田 徹選手が県連より表彰されました。今年度も大会、審査等、活躍の場を広げて頂きたいと思っております。

3月9日「平成30年度埼玉県体育賞授与式」に於いてふじみ野市弓道連盟会長・齋藤安次先生が、体育・スポーツ振興に努め著しい功績のあった者として「功労賞」を授与されました。大変喜ばしく思います。

会員の皆様には健康に留意し、事故の無いように、くれぐれも危険防止対策の気配りをお願い致します。「和」を大切にコミュニケーションを怠らず精進して参りますので今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

<競技・講習会>

●第28回西部支部高校弓道選手権大会

平成30年11月18日(日) 所沢市民武道館
参加97名(所沢、所沢北、所沢商業高校)

○団体の部：①所沢商業高校Aチーム(河野陸・小林大輝・山越優太)②所沢商業高校Cチーム(菅沼大輝・田口功将・新見広樹)③所沢北高校Cチーム(中村駿哉・原田直輝・島崎直希)

○個人の部：①石田紗咲(所沢商業高校)②河野陸(所沢商業高校)③菅沼大輝(所沢商業高校)

●納射会

平成30年12月2日(日) 所沢市民武道館
参加108名 ○三段以下の部①米澤眞樹(所沢)②田村純子(志木)③新木清司(志木) ○四・五段の部①中村徳海(所沢)②境 和久(朝霞)③瀬賀かほる(所沢) ○称号者の部①上橋 宏(所沢)②松崎恭子(所沢)③大塚 進(朝霞)
○総合優勝、上橋 宏(所沢)

○団体男子①大宮南(伊藤・佐久間・五十嵐)
②埼玉栄(清水・峠・和泉)③浦和(菅・東海枝・山中)

○団体女子①大宮南(大久保・横山・宮本)②大宮光陵(原田・豊田・爪川)③埼玉栄(平野・渡邊・富崎)

○個人男子①中田伊織(浦和西)②東海枝航平(浦和)③峠 春輝(埼玉栄)

○個人女子①宮本 萌(大宮南)②三宮也実(与野)③勝見友香(与野)

○中学生個人①佐藤愛莉(市立浦和)②林 すす(市立浦和)③阿部瑞希(市立浦和)

●称号者講習会

平成31年1月13日(土) 大宮武道館弓道場
参加27名 講師：岡田義助教士、
講習内容：矢渡・立射礼・持的・一つの射礼、
高校生講習会に向けての講話

●五段講習会

平成31年1月19日(土) 大宮武道館弓道場
参加27名 講師：飯島千代子範士、浅子好夫、
加藤祐子各教士、
講習内容：持的射礼、射技指導

●四段以下段講習会

平成31年1月20日(日) 県立武道館弓道場
参加129名 講師：浅野有三教士、廣松 弘、
山崎孝美、竹内せき子、軽込次男、片岡一子、
山中茂夫、鈴木昭一各教士、
講習内容：一手行射と講評、体配研修 射技指導

●高校生講習会

平成31年3月16日(土)、3月21日(木)
県立武道館弓道場
平成31年3月23日(土) 大宮武道館弓道場
参加237名 講師：岡田義助教士、他支部内
称号者40名
講習内容：審査に向けての体配・矢・射技指導、
注意事項の確認等



画・松本 正

中 部 支 部

支部長 蔦田 富男

●初射会

平成30年1月20日(日) 所沢市民武道館
参加121名 ①森下珠美(所沢)②藤原敬一(所沢)③田中恵美子(所沢)

●総会射会

平成30年3月24日(日) 所沢市民武道館
参加100名 ①関口二郎(所沢)②室町純子(志木)③平船栄治(志木)

●第4回支部講習会(三・四段)

平成30年10月7日(日) 朝霞市内間木公園
弓道場 参加29名 講師：瀧上三郎、斎藤和子各教士 内容：平成30年指導方針の説明、一手行射2回、講評、瀧上講師模範演武、射技指導、仕上げ一手行射

●指導者特別研修会(錬士五段以上)

平成30年10月28日(日) 所沢市民武道館
弓道場 参加26名 講師：範士八段鈴木康弘先生 内容：一手行射、射形の見直し、稽古の仕方、自信を持って受審する、鈴木範士模範行射

●第5回支部講習会(三・四段/二段以下)

平成31年2月3日(日) ○三・四段：三芳町弓道場 参加54名 講師：鹿野信恵、花井俊則各教士 内容：一手行射、体配、襷掛け、肌脱ぎ、射型確認(講師模範行射) 射技指導
○二段以下：新座市総合体育館弓道場
参加54名 講師：市川政子、松崎恭子各教士
内容：一手行射、入退場要領、執弓等体配の説明、失の処理、審査の心構え、着装、弓具の点検、射技指導、仕上げ一手行射

●特別講習会(錬士六段以上)

平成31年3月16日(土) ふじみ野市弓道場
参加34名 講師：浅野有三教士
内容：一手審査方式、一つの射礼、30年度指導方針に基づいての指導。

●特別講習会(五段・錬士五段)

平成31年3月23日(土) 所沢市民武道館弓道場 参加27名 講師：浅野有三教士
内容：一手審査方式、一つの射礼、浅野講師による模範行射、入退場、基本動作の注意点等

●春期高校生講習会

平成31年3月26日(火) 所沢市民武道館
参加61名 講師：池谷 茂、斎藤和子、甲斐久歳各教士 内容：一手審査方式2回、講師3人による審査方式模範行射。失の処理、射技指導、指導を入れながら仕上げを兼ねて一手審査方式

創立五十周年記念誌の思い出(2)

～弓術師範・石井利常の取材～

中部支部顧問 内河 輝臣

五十周年記念誌75頁「群像」の記事中、川越藩最後の弓術師範、日置流道雪派・石井利常の取材経過について述べたい。

編集委員長の片居木先生は、できれば遺族の方々からお話をお聞きしたいと、いろいろ手を尽くして調べた結果、孫の石井欽二氏が川越市通町にご健在であることを突き止めた。

たまたま私の家から極めて近かったので、なんとか訪問の手立てはないかと相談を受けた。家内に話したところ、娘さんの一人が家内と小学校と高校が同期だったことがわかり、家内から娘さんを通してお願いし、訪問が実現することとなった。

平成9年2月1日と5月17日の二度にわたり、片居木先生、駒場弓友会の小林輝昌氏と小生の3人でお伺いした。

初対面の第一印象は、やや小柄ながら、いかにも古武士という風格と威厳があり、近寄りやすい感じを受けた。

石井欽二氏はこのとき84歳、数年前に奥様を亡くされてのお一人住まいで、二人の娘さんが交代で身の回りの面倒を見に来てくれているとのことであった。

祖父・利常は欽二氏が小学生の時に亡くなったが、湯本半兵衛(記念誌75頁「群像」参照)からときどき筆書きの手紙が来ていたことなど、興味あるお話をいろいろお聞きすることができた。その概略は記念誌を参照されたい。

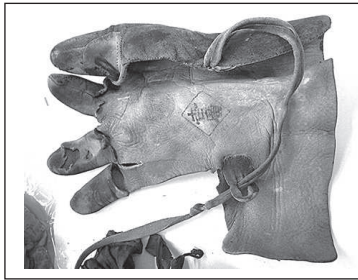


(左から片居木先生、石井欽二氏、内河)

この訪問でもうひとつ特筆すべきは、石井利常が晩年に使用していた弓と楯(ゆがけ)、ならびに肖像写真を拝見できたことである。

弓は黒の漆塗りに仕上げられており、長さが通常の並寸より5cmほど短い。また補強のためか、籐が上成りや下成りの部分を含め、全体で7ヶ所、しかも長めにたっぷり巻いてあるが目立った。厚さが約2cm(6.6分)あり、多少短めなことから22、3kg以上の強さかと推定される。

楯は見かけ上は四つだが、取懸けの痕跡を見ると三つ四つ兼用で使用していたようだ。



(楯の写真)

小林輝昌氏の見立てでは、堂射のときに四つとして使ったのではないかとのことであった。また、弦道は極端な大筋違いに切っており、これでどのように離していたのか、非常に興味を持たれる。

利常は丈高く、肩幅広く、偉丈夫で、腕力も非常に強かったとの欽二氏の談から想像すると、楯の大きさはやや小振りに見える。なおこの楯は欽二氏のご厚意で埼弓連に寄贈いただいたので、現在IT事務所に保管されている。

肖像写真はA3版程度の大きさで、よく撮れており保管状態も良かったので、写真を撮らせていただき、記念誌7頁の巻頭グラビアに掲載した。

本稿執筆にあたり、再度石井氏宅を訪問し、欽二氏はすでに亡くなられていたもので、ご子息の石井進氏にお願いし、石井源一氏(欽二氏の兄上)の自伝「七十年の回顧」を閲覧させていただいた。ご自身の経歴、思い出に加えて、利常や、それ以前の石井家の祖先のことも詳しく書いてあり、大変参考になった。

また源一氏は東京高等工業学校(現東京工業大学)時代に、祖父の影響を受けて弓道部に入部し、熱心に弓を引いたとの記述もあった。

ご子息のお話では、親族の中にはほかには弓道をやられた方はいないとのことであった。

<競技・講習会>

●第12回みのり会(60歳以上)

平成30年10月2日(火) 日高アリーナ弓道場 参加63名

①上原秀明(入間)②川手雅史(鶴ヶ島)③三巴孝(狭山)

●第18回中部支部高等学校弓道大会

兼 読売新聞さいたま支局長杯争奪戦

平成30年10月28日(日) 日高アリーナ弓道場

□男子団体の部 ①坂戸西G(中根、川崎、齋木)②川越総合A(岸上、榎本、種市)③坂戸西E(進藤、石山、小柳)

□女子団体の部 ①山村学園C(重田、牧、清瀬)②飯能A(池田、古屋、町田)③西武文理A(井上、山内、石川)

□男子個人の部 ①種市惇輝(川越総合)②長田大樹(川越総合)③進藤侑斗(坂戸西)

□女子個人の部 ①町田緋依(飯能)②高橋双葉(狭山ヶ丘)③重田千尋(山村学園)

●支部納射会

平成30年12月16日(日) 日高アリーナ弓道場 参加107名

□四段までの部 ①大石康彦(狭山)②木下由紀子(東松山)③田中浅男(坂戸)

□五段以上の部 ①荒川直美(入間)②堅木由加(川越)③千葉公(川越)

●支部初射会(兼 昇段・昇格祝射会)

平成31年1月19日(日) 日高アリーナ弓道場 参加88名

①上原秀明(入間)②須田明江(入間)③川口憲次(川越)

●支部評議員会射会

平成31年3月24日(日) 川越運動公園弓道場 参加61名

①川口憲次(川越)②瀬戸達雄(川越)③高木博志(小川)

●女子講習会

平成30年10月6日(土) 日高アリーナ弓道場 参加14名 講師：市川政子教士

●第4回支部講習会(四段以下)

平成31年2月3日(日) 入間市武道館弓道場 参加52名

講師：西崎明伸、水岡 勇各教士、清水恵津子 錬士

大宮公園弓道場控室の改修成る

控室完成まで

大宮弓武会 川合 俊司

大宮公園弓道場木造控室の概要について皆様
に知って頂きたいと思えます。

大宮公園弓道場は昭和30年1月10日に竣工し、昭和55年3月12日に一度改築されました。

旧控室は色々修繕を重ねてもらい使用してきましたが地震等の影響で雨漏りが大きくなり、
埼玉連や高体連と相談し、何度も打合せをして大宮公園事務所に増築のお願いをしました。
その後、公園事務所がいろいろ検討、努力して下さり、埼玉県に申請する運びとなりました。
平成28年、お陰様で設計の許可が下りました。
内容は、増築ではなく土台を残しての、改修ということでした。



(控室撤去作業)

工事は平成30年8月から9月にかけて、玄関や控室の撤去工事が始まりました。工事にあたり、利用者に影響しないよう矢取り通路口を出入り口とし、そこまでビニールの屋根をつくってもらい、玄関代わりとして、道場を閉鎖することなく、撤去その他の工事はおこなわれました。



(工事中、ビニール屋根の出入り口)

10月頃から、基礎コンクリートの工事が始まりました。その後、躯体が立ち、屋根が乗り、内装工事へと進みました。

予定通りに平成31年3月にりっぱな木造の控室が完成しました。

控室完成にあたり

大宮弓武会 川合満喜子

大宮公園弓道場の控室が完成しました。

完成を人一倍待っていた小宮栄子先生は居ない・・・



(正面から控室を臨んだところ)

一時は弓道場の存続も危ぶまれる話が出ていました。それは、この弓道場から巣立った弓道人には悲しいことでした。

ところが埼玉連、高体連のご尽力により、思わぬ方向に変わったのです。

先ず、道場は壊さず、存続させて頂けるということになり、さらに雨漏りのひどい玄関や控室の修復をして下さるとい話なのです。

それに答えるように、月1回の錬成会で「道場をきれいにしましょう」と小宮先生の意向が加わり清掃作業が行なわれるようになりました。清掃は、小宮先生亡き後も本橋会長が引き継いで下さり、今も続けられています。

小澤通春会長の時から、何回となく話し合いがもたれ、改築の話が出るたびに小宮先生共々、とっても楽しみにしていました。



(控室内部は冷暖房のフローリングです)

弓が引ける楽しさを空の上の先生方も一緒に喜んで下さっていることでしょう。感謝をしながら、大事に大切に利用していきたいと思っています。

ねんりんピック富山 2018 全国優勝

埼玉県代表チーム監督 望月 衛

平成30年11月3日から6日まで、富山県で開催された第31回全国健康福祉祭富山大会「ねんりんピック富山2018」の弓道交流大会において、私たち埼玉県代表チームが優勝しました。

ねんりんピックは基本的に60歳以上であることが出場条件であり、弓道に限っては都道府県、政令指定都市から各1チーム(5人)、合計70チームによる団体戦でした。

大会に先立ち平成30年5月15日に開催された埼玉県実年者弓道大会兼全国健康福祉大会(ねんりんピック)県連予選会の結果、下田徹先生(所沢)、村上広子先生(上尾)、竹村銀郎先生(桶川)、下田逞次さん(入間)、大西三枝子さん(越谷)、私(久喜)が埼玉県代表に選抜され、メンバーの互選により私が監督兼務となりました。

チームが結成された後は、毎月の錬成会や打合わせを兼ねた食事会等で腕に磨きをかけながらメンバー相互の親睦を図り、本番に備えました。

大会はまず1日目に予選1回戦、2日目に予選2回戦が行われました。1回戦、2回戦ともに一人4射ずつ、チーム合計40射します。1回戦は村上先生、下田先生、私が不振でしたが、竹村先生が4中、大西さんが3中と頑張ってくれました。1回戦不振の私を下田逞次さんに選手交代し2回戦に臨んだところ、村上先生が4中、竹村先生が3中、他の皆さんがそれぞれ2中し、1回戦、2回戦の合計が40射22中で、無事予選を通過できました。因みに決勝トーナメントには上位16チームが出場できますが、私たちは同率7位でした。

決勝トーナメントは一人一手ずつ、決勝戦のみ一人4射で競いました。また、決勝トーナメント1回戦の立順はくじ引きで決められ、私たちは奈良県代表と戦うことになりました。

決勝トーナメント1回戦を6中対5中で辛くも逃げ切った後、2回戦(対大分県代表)を8中対1中で破り、この時点で3位以内入賞が決定しました。続く準決勝戦(対広島県代表)も8中対6中で難なく破り、チームメンバー全員が勢いづいている感じがしました。

いよいよ決勝戦は福岡県代表チームと対戦です。私たちはスタートから先行し、全員が3射

終了時点で9中対6中でした。私はこの時点で優勝を確信しましたが、あろうことか、埼玉県代表チームの大前から落ち前までの皆さんが4射目を外す一方、福岡県代表チームは落ちが4射目を終了した時点で9中となりました。勝敗は落ちの竹村先生の如何に係りました。祈る思いの私の手はジットリと汗がにじみ、胃はキリキリと痛みました。他の皆さんの思いも同じだったと思います。

その竹村先生はいつもと変わらず、端然として放たれた4射目は見事の中。竹村先生は4射皆中でした。



結果10中対9中で勝ち、埼玉県初のねんりんピック優勝を獲得できました。

今大会の埼玉県代表チームが優勝できたのは、他チームより少しだけチーム力が勝つからだと思います。誰かが不調の時は誰かがカバーし、一定の的中数を維持できたチームでした。また、常に相手より先に行射し、的中数も先行したことが勝敗に影響したと思います。大前の大西さんは予選から決勝トーナメント全試合とも、相手チームより先に行射し、1射目を的中させました。相手チームにはかなりのプレッシャーになったことと思います。

大会を終えて私たちは、五箇山や白川郷、富山湾クルーズ等を旅し、11月7日帰埼玉しました。埼玉県代表チームのメンバーに選抜されてから約半年、特に大会期間中の約1週間は寝食を共にし、家族とはいかないまでも親戚同士のように親しくさせていただきました。私は今でも皆さんから「監督!」と呼ばれており、これからの長いお付き合いになりそうです。

お世話になりました本橋民夫会長をはじめ埼玉県弓道連盟の役員の皆様、特に錬成会でご指導いただきました岡田義助先生、大西いづみ先生に感謝申し上げます。

【投稿記事】

熊谷さくらマラソン・荷物預り奮闘記

熊谷運動公園弓道会会長 手嶋 照晃

熊谷さくらマラソンには第一回目から携わってきた。私が確か40代後半からだったと思う。その頃は未だマラソンの規模も小さく、弓連からのボランティアも数人だった。以前は、市内のマラソンコースの街頭で交通整理員としてボランティア活動をしていたので、ランナーが通り過ぎればお役目終了であった。十数年前から熊谷運動公園弓道場で貴重品預かりをするようになり、程なく荷物全てを預かるようになった。

場所が弓道場なので弓連有志が毎年荷物預かりのボランティアを担当している。今年は29人も弓連会員が荷物と奮闘した。

前日は準備作業。荷物受け入れのため道場内を片付け、荷物を置く場所を確保する。そこに線を引いて番号を振っていく。近的射場・遠的射場・廊下・巻藁場・男子更衣室・女子更衣室の全てが番号札で占領されてしまい、マラソンが終了するまで弓道場として使えなくなる。

当日は午前7時に集合し、担当部署にスタンバイした。8:30開会式。当荷物預り所も戦闘開始。受付は荷物を預けるランナーで長蛇の列。



(弓道場玄関前で順番を待つ人の並び)

玄関内は、足の踏み場もないほど、すぐに荷物の山で埋め尽くされる。

屋内では配置担当が、山になった荷物を荷札通りに所定の場所へ、小走りで逐次整理整頓していく。

マラソンの各種別によりスタート&ゴール時間が相まっているので、絶え間なく続く。預ける人がいなくなったとホッとする間もなく、今度は返却を求めるランナーが列を為す。



(玄関内は荷物で埋まっていく)



(近的射場に整理して置かれた荷物)

以前は返却に時間がかかり『荷物はどうした』といらだつランナーの罵声を浴びることもあった。最近は整理された荷物を、手際よく返却できるようになったと自負している。でも、ナンバーの書き違い、読み違い、等々で苦勞する事も多々ある。

13時で荷物預かりは終了。これからは道場内外でマラソンに使用した物を撤収し、道場内を元通りに整頓する。同時に返却カードを整理(コースごとの枚数を確認)し、来年の荷物預りスペースの参考にする。ちなみに今年の預かり荷物は、1631個だった。

その後、大会本部から支給された弁当を食べ、暫く歓談。最後に今日の反省会(良かった事・悪かった事・改善点等々)を行なう。一人ひとりが意見交換をし、来年の改善につなげていく。今、当会でも会員の高齢化からボランティア活動の高齢化に直面し、如何に若い人達に呼びかけるかが課題である。

16時頃ようやく解散。この日、担当した部署により多少の差はあるが、1万7千歩前後歩いた。

ティーブレイク

射に疲れたとき、頭の体操でお楽しみください。
□には数値が入ります。(漢数字の場合もあります)

①立った姿勢

足の揃え方で男子は□cmの間隔を保つ。

②執弓の姿勢で、

弓の末弭は、体の前面中央で床上□cmの高さに保持する。

③入場の揖の動作は、

呼吸に合わせて上体を□cm屈し、起すときは静かに上へ伸びるように。

④正座、跪座、蹲踞の姿勢

男子は両膝頭の間隔が約□拳、蹲踞では膝頭の間隔が約□拳が基準です。

⑤本座での揖

呼吸は三息で、上体を□cm屈する。起すときは上体を静かに上へ伸びるように。

⑥射位で弓を立てたとき

本弭は身体の中央で両膝頭の前方約□cmの位置。弦は常に鼻筋にあること。

⑦大三の形

妻手の拳は、額の斜め左上約□cmの位置がよいとされる、矢は体と平行に。

⑧離れの弓手の拳の動作で、

許容は、後ろ下へ約□cmまで。
(□拳までと言う場合もある)

⑨弓倒しの動作

弓の末弭は床上□cmで止める。

⑩退場の揖の動作

呼吸は□息で、上体を□cm屈する。

⑪肌脱ぎ動作で、左手を乳の下あたりに持ってきたとき、左手と乳の間隔は約□cmです。

⑫巻藁に関して

大きさは直径□cm又は、□cmが推

奨されている。

⑬弓の矢摺籐の長さは□cm以上必要です。

⑭近的競技の場合

矢の羽丈は□cm～□cmの間で、
羽山は□cm以上でなければならない。

⑮通常、近的の的は直径□cmです。的の中心から塚敷まで□cmなので、塚敷からの的枠下まで9cmとなる。

⑯定めの本座での基準の礼の角度は□度です。

⑰近的の場合、射位からの的までの距離は□mで、
的の傾斜角度は後ろへ□度傾きます。

⑱本座～射位の距離は、(原則)

近的競技では標準が□m(□歩)、
遠的競技では□m(□歩)です。

⑲現在使用されている弓の長さ

並弓は□mで七尺三寸、通常伸び弓と言っているのは、さらに二寸伸びて□mのこと。

⑳左手、右手、左右の肩、胸を張り詰めることを□部の詰めという。

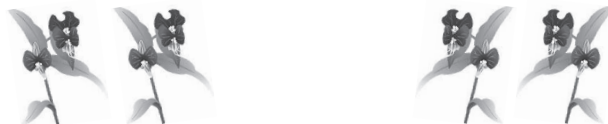
㉑取りかけ

取りかけには、磔を筈の所で直接弦に絡ませる方法と、約□cm下で弦に絡ませ擦り上げる方法がある。

今回ティーブレイクと題してクイズを掲載しました。弓道の長さ(数字)に関する設問で、体で覚えておくものや知識として知っておくものなどの数値ばかりです。皆さんにとっては簡単だったでしょう。意外と10cmや一拳という言い方がたくさんあり、びっくりしました。

なお、出題には弓道教本第一巻や弓道競技規則等を参考にさせていただきました。

(編集部)



埼玉連創立 70 周年記念

1. 記念祝射会の開催

- ・「埼玉連創立 70 周年記念」の冠を付けた射会を支部毎に実施する
- ・2019 年度支部開催の特定射会が対象
- ・日時・場所・各支部の事業計画に基づく

2. 記念誌の発行

- ・内容：60 周年以降の 10 年間の記録（平成 22 年より平成 31 年まで）
- ・頒布価格：500 円 / 冊、事前申込み、10 月下旬発行予定
- ・記録収集、記事作成に会員の皆さまのご協力をお願いします

3. 記念品の頒布

- ・弓巻き（エンジ、ブルー、グリーンの 3 色）
- ・頒布価格：1500 円 / 本、事前申込み、10 月下旬配布予定

埼玉連 70 周年記念事業実行委員会

昭和 24 年（1949 年）11 月 3 日に設立された埼玉県弓道連盟は、令和元年（2019 年）に創立 70 周年を迎えます。

埼玉連 70 周年記念事業実行委員会では、創立 70 周年を記念して記念祝射会の開催、記念誌の発行、記念品の作成を企画しました。

●記念祝射会

60 周年は射礼支部対抗戦を行いました。70 周年は多くの会員が参加できるよう各支部で開催する特定射会に「埼玉連創立 70 周年記念」の冠を付けた射会を実施します。なお、この射会には県連より各支部に 5 万円の助成金を支給します。

●記念誌

60 周年記念誌と同様に、70 周年記念誌は前回発行から 10 年間の埼玉連の活動や試合記録、各支部や道場の歩みをまとめたものになります。

頒布価格は 1 冊 500 円になります。

●記念品

記念品は弓巻きです。50 周年記念の際にも弓巻きを作成しましたが、70 周年では 3 種類の色違いの弓巻きを用意しました。

色はエンジ系、ブルー系、グリーン系の 3 色。表地には本橋会長による「埼玉県弓道連盟創立 70 周年記念」の揮毫が入ります。

頒布価格は 1 本 1,500 円で、複数本での申し込みも可能です。

記念誌・記念品の県連申込み締め切りは 6 月 15 日、配布は 10 月下旬を予定しております。たくさんの会員の皆様からのお申し込みをお待ちしております。